

「ピースハートぎふ」 夏の参院選に向けて始動！ 県内3カ所（中津川、大垣、高山）で ”手をつなぎ、未来につなぐ。市民と野党のつどい”を開催



御礼とご報告

「ピースハートぎふ」は、2月16日（土）には中津川市内のにぎわいプラザで、2月21日（木）には大垣市内のスイトピアセンター学習館で、そして2月24日（日）には高山市内の飛騨・世界生活文化センター大会議室で、“手をつなぎ、未来につなぐ。市民と野党のつどい”を開催しました。中津川では200名、大垣及び高山ではそれぞれ100名を超える市民の皆さんに参加していただき、野党4党と共に「市民と野党の共闘」を実現させようと決意表明をしました。その様子を報告します。

”つどい”では、「ピースハートぎふ」代表の河合が「ピースハートぎふ」の結成経緯や目的などを紹介すると共に、これまでの活動を報告しました。

2016年7月の参議院議員選挙において、民進党、日本共産党、社会民主党と「岐阜総がかり行動実行委員会」が「ピースハートぎふ」を結成したこと、市民と野党の統一候補小見山幸治さんを推して闘ったこと、勝利できなかったが一定の成果をあげたこと。しかし、選挙対策本部との足並みが揃わなかったことや「ピースハートぎふ」が岐阜市近辺中心の運動であったことなどを指摘しました。

この参議院選挙後には、福山真劫さん、中野晃一さん、諏訪原健さんを招いての講演会を実施したこと、2017年10月の衆議院選挙の1区（吉田里

江さん）及び2区（森桜房義さん）での選挙戦を闘ったことなども報告しました。

そして、2019年参議院議員選挙に向けた現在の状況に言及しました。「ピースハートぎふ」の構成団体は「岐阜総がかり実行委員会」と立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党であること、立候補予定者は立憲民主党から梅村慎一さん、日本共産党から高木光弘さんの名前が挙がっており、統一候補の決定には至っていないこと、国政選挙であり、全国的な視野に立った調整が必要であること、しかし、必ず「市民と野党の共闘」を実現するという確認はしていることなどです。

同時に、統一候補が決まっていない段階で“市民と野党のつどい”を開催した意義も述べました。市民からすれば、速やかに一本化して闘いたいという思いは当然ですが、「統一候補がないから何も活動しない」ということはあり得ないことです。今こそ、市民は、改めて高らかに“市民と野党の共闘”“市民と野党の共闘で政治を変えよう”と期待し、熱望し、激励することが必要です。野党にも、“市民と野党の共闘”しかないんだと改めて確認してもらい、“市民と野党の共闘”をみんなでより一層確認する場ということでした。

また、中津川、大垣、高山で開催する意義は、これまで、岐阜市とその近辺中心の活動であったことを反省し、全県的な広がりを作らなければならないということからです。



この報告の後、立憲民主党岐阜県連合の梅村慎一副代表、国民民主党岐阜県総支部連合会の伊藤正博代表（大垣では野村美穂幹事長、高山ではメッセージ代読）、日本共産党岐阜県委員会の高木光弘書記長、社会民主党岐阜県連合の森廣茂代表（大垣では戸田二郎副代表）が、それぞれに、安倍政治への批判、改憲阻止の決意、原発の問題、消費税増税反対、辺野古新基地についての住民投票、公立病院のベット数の削減などについてアピールしていただきました。同時に「市民と野党の共闘」の意義や必要性などを口々に訴え、「絶対に実現する」決意を高らかに表明していただきました。

中津川では、うたごえ「カンターズ」が、大垣ではフォークデュオ「伊舞木座」が、平和と幸福を希求する歌を披露して



下さいました。また、高山では、地元を選挙区とし、岐阜県内唯一の野党国会議員である今井雅人さんからメッセージを披露して貰いました。

そして、各会場とも3～4人の地元の市民から「市民と野党の共闘」に向けての期待、要望、激励を述べていただきました。各々の方の経験や暮らしの中で実感する今の安倍政治の問題、憤り、市民と野党の共闘に期待する思いが伝わってきました。市民の皆さんの発言には、参加者から「そうだ」「そのとおり」などの声がかかったり、同感の拍手がしばしば起きました。会場が一体となっていました。



本当にありがとうございました。

最後は、「ピースハートぎふ」副代表（高山では事務局長）の音頭で、野党4党と「ピースハートぎふ」が手をつなぎ、すべての参加者は「ピースハートぎふ」エンブレムを掲げ、「市民と野党は共闘」を三唱しました。会場がまさに「市民と野党の共闘で政治を変えよう」の一色になりました。参加者全員が間違いなく勇気と希望を持てたと思います。



参加者の皆さん、本当にありがとうございました。野党4党の皆さん、ありがとうございました。

そして、会場の準備、設営にご尽力をいただいた各地の皆さん、大変お世話になりました。今回の“つどい”は、各政党がそれぞれに闘う統一地方選挙の前に県内各地で開催する必要があるという「ピースハートぎふ」事務局の情勢判断のもとに決めたものですが、皆さんには押し付けたようなことになりました。止むを得なかったという面があったにせよ、本当に申し訳ありませんでした。しかし、皆さんの絶大なご尽力で、中津川、大垣、高山のどの会場での“つどい”も大成功だったといえます。市民と野党が、しっかりと「手をつなぎ」そして「未来をつなぐ」場、参議院選挙勝利に向けた確実なスタートとなったとみんなで確認し合う場、となったと確信します。



中津川、大垣、高山での、この決意、熱気を全県下に行き渡らせたいと思います。

皆さん、本当にありがとうございました。

ピースハートぎふ 代表 河合良房

戦争させない・9条壊すな！岐阜総がかり行動実行委員会

代表・河合良房(弁護士)

<https://gifu-sougakarikoudou.jimdo.com/>

連絡先:河合法律事務所 058-262-7997